

令和7年度 第1回 福岡市病院事業運営審議会 議事録

日時

令和7年10月20日（月）17:55～19:00

場所

TKP ガーデンシティ PREMIUM 天神スカイホール メインホールA

会議次第

1 開会

2 議事

(1) 移転候補地について

①前回審議会後の対応

②移転候補地の概要

③移転候補地の評価・比較

④運営・施設部会 報告書

(2) 今後の進め方について

議事録

1 開会

【事務局】

令和7年度第1回福岡市病院事業運営審議会の開催にあたり、委員総数14名のうち13名の出席があり、病院事業運営審議会規則第7条第3項に規定する会議に必要な定数である過半数を満たしていることを報告。

また、福岡市情報公開条例に基づき、本審議会は公開となる旨を報告。

2 議事

(1) 移転候補地について

①前回審議会後の対応

②移転候補地の概要

【事務局】

＜資料3（運営・施設部会 報告（現地以外での整備））、資料4（運営・施設部会 報告書）の説明＞

【会長】

ただ今の説明について、まずは、①前回審議会後の対応と②移転候補地の概要について、ご意見やご質問をいただきたい。

＜意見なし＞

【会長】

特に意見等がないようなので、次に進めたい。

(1) 移転候補地について（運営・施設部会からの報告）

③移転候補地の評価・比較

【会長】

それでは、③移転候補地の評価・比較について、ご意見やご質問をいただきたい。

【委員】

適とされている箱崎中学校と福岡中学校の医療環境への影響について説明をいただきたい。

【事務局】

医療環境への影響については、各移転候補地周辺の医療機関との距離で評価を行っており、市民病院と同じような役割の救急告示病院、災害拠点病院、主な病院が近くにあるほど、点数が低くなるという評価の仕方をしている。

箱崎中学校については、救急告示病院、主な病院である輝栄会病院と約 2.8km、災害拠点病院である九州大学病院と約 4.1 km の距離がある。

福岡中学校については、救急告示病院、主な病院である千鳥橋病院と約 0.7 km、災害拠点病院である九州大学病院と約 1.6km と距離が近いため点数が低くなっている。

一方で、運営・施設部会からは、「福岡中学校はこの評価方法に基づけば点数は低くなるが、現市民病院から約 1.6 km と非常に近いため、実際には医療環境については、大きく影響しないのではないか」とご意見をいただいている。

【委員】

市民病院の役割として、博多区の病院や診療所との連携を担っていると思うが、このいずれかの移転候補地へ移った場合の医療機関との連携はどのように考えているのか。

【事務局】

市民病院は、福岡県から地域医療支援病院の承認を受けているが、その地域医療支援病院は、各区に 1 つというわけではなく、市内に 10 か所ある。仮に市民病院が東区に移ったとしても博多区の医療機関との連携がなくなるわけではないと考えている。

【委員】

九州大学病院と市民病院は元々近く、それぞれの機能が分担されている。

ただ、今後、市民病院が増床し、経営を成り立たせていくためには、医療機能の調整をせざるを得ないが、うまくいくと思っている。

現在、医療経営は非常に厳しいため、関係を保ちながら前に進んでいけばいいのではないかと思う。

【委員】

現在、厚生労働省により 2040 年に向けた新たな地域医療構想のガイドラインの策定が進んでいる。その新たな地域医療構想を念頭に置きながら、千早病院と統合した上での市民病院の役割や、2040 年の医療ニーズを見据えた病床規模や必要な診療科を考えていく必要があると思う。

また、令和 3 年度の感染症専門部会と今回の医療機能部会に参画していた経験を踏まえ申し上げると、公立病院である市民病院は、民間の医療機関では代替困難な不採算医療をきちんと担っていくべきだと思う。具体的には、感染症医療と救急医療。感染症医療については、コロナを経験して、新興・再興感染症対策の重要性が認識されたと思う。

また、救急医療については、医療機能部会報告書にも、医師の働き方改革の影響により、ひっ迫が懸念される福岡市内の一次、二次救急対応の検討が必要と記載されている。実際に医師の働き方改革は実施されており、現在、二次救急だけではなく、一次救急のひっ迫というのも市内では顕著になっていると思う。

そのため、今後の市民病院のあり方を検討する上では、一次救急の対応というのも検討すべきだと思うが、新たな候補地として示された福岡中学校は国道 3 号の横に位置しておりアクセスがよいということなので、現在、百道に急患診療センターがあるが、福岡市の東側を担う一次救急の拠点として福岡中学校を検討してもいいのではないかと思う。

【委員】

ここ数年で、救急医療が変わってきていると思う。現在、福岡市で重要なのは高度急性期よりも、一次救急、二次救急。特に、高齢者救急をどう扱うかは厚生労働省の審議会でも重要な問題となっている。福岡中学校に移った場合、九州大学病院と隣接しているので、九州大学病院が救命救急センターとして三次救急を中心に行い、一次救急、二次救急を市民病院が担うという体制になると非常にありがたい。

また、急患診療センターについて、インフルエンザやコロナが流行している時期は、患者が早くから診療の開始を待っている状況もあるため、福岡市の東側と西側にそれぞれ設置するというのはリーズナブルだと思う。

【委員】

有事、平時で分けて考えると、コロナのような有事の場合、市民病院と九州大学病院が人材や技術のやり取りを有機的にすることで、機能の増強が非常に期待できると思う。

一方で、平時は大規模な病院が隣にある中で、通常の診療が成り立つかという懸念がある。

また、現在、全国的に医療経営が非常に厳しい状況である。

福岡中学校は、九州大学病院に近いのではなく接しているという発想からすると、例えば、高額な医療機器の共有や電子カルテの一元化などによって経費を削減することができるのでないかと思う。福岡市の病院であるため採算を度外視しなければならないこともあると思うが、税金で賄われている部分もあるため、そこをどれだけ抑えられるかという点に関しては、新しいモデルとしてチャレンジして成功してもらいたい。

【委員】

私も公立病院として一次救急の役目が必要だと思う。

昨年の正月に家族が急患診療センターを受診したが、駐車場がとても混んでいて、薬をもらって帰る時には6時間半が経っていた。

医療従事者の方は平日夜間、正月を含めて、大変厳しい状況であることは重々承知しているが、やはり急患診療センターの機能を東と西に分ける必要があると思う。また、場所としても福岡中学校はいいのではないかと思う。

【委員】

救急、災害対応の点で、緊急輸送道路に接しているかは非常に重要な視点だと思う。

箱崎中学校と福岡中学校を見比べると、箱崎中学校のアプローチは踏切を渡るか、松島けやき通りを通るかの二つであるが、踏切は今後JR新駅ができることで廃止される予定であるため松島けやき通りを通る必要がある。その松島けやき通り周辺には閑静な住宅街があるため、箱崎中学校に移った場合、地域への負荷が大きいと思う。

福岡中学校だが、国道3号との間に緑地や歩道橋、バス停などがあるが、アプローチには課題があると思う。その辺の解決は可能なのか。

【事務局】

福岡中学校は、現在、国道3号に接道していないことから、法令上、大規模な建築物は建てられないことになっており、今後、必要な諸手続きを行っていくことになる。また、緑地についても、これから関係部署としっかりと調整を行っていきたい。

【委員】

福岡中学校を新たな候補地とすることができたのは、馬出の地域の皆さんに施設一体型による小中学校の整備に向けてご尽力いただいた賜物だと思っているため、そういう部分もくみ取っていただきたい。

【委員】

2040年を見据えた長期的な視点で考える必要があるが、箱崎中学校、福岡中学校の近辺が、10年、20年後にどのように変わっていく見込みなのか市で把握していれば教えていただきたい。

例えば、箱崎中学校は九州大学箱崎キャンパス跡地にマンションなどが建った場合、人口が増加する可能性があるため、メリットになるのではないかと思うが、何か情報があるか。

また、隣接している病院の事例として、大阪府の国立循環器病研究センターと吹田市民病院は、駅のコンコースを挟んで隣接している。福岡中学校に移った場合、九州大学病院と近接するため、アーケードなどを作り、市民の使い勝手や病院同士の医療連携が進むような構成にしていただければと思う。

【事務局】

九州大学箱崎キャンパス跡地については、南側は民間事業者によるまちづくりの内容が示され、箱崎中学校を含む北側は、市の区画整理事業が進められているところであるが、住宅等がどの程度計画されているのかといった具体的な内容は承知していない。

いずれにしても、九州大学箱崎キャンパス跡地がどのように開発されたとしても、市民病院は一定の広域的な医療を提供している病院であるため、箱崎中学校、福岡中学校のいずれの土地であっても、大きな差異はないのではないかと考えている。

【委員】

市民病院は公的な病院であるため、災害などの有事の対応や不採算医療についてしっかり考えなければならない。その視点で見たときに、第一次緊急輸送道路である国道3号と近接していることで、インフラの要所である空港や港湾などにアクセスでき、災害が起きた際にとても大きな財産になるため、国道3号に接しているというのは魅力的だと考える。

また、一次救急について、百道の急患診療センターがいつも混んでいるというのは市民や他の議員から聞くことがある。経済的に難しいかもしれないが、公立病院として担っていかなければならず、市の東と西に設置することで一次救急がしっかりと回るのでないかと考えるので、その辺も含めて、市民病院のあり方をしっかり考えなくてはならない。

【委員】

土地活用可能時期について質問させていただきたい。

箱崎中学校は5年後以降となっているが、6年なのか、10年、15年なのか、目途はあるのか。

【事務局】

箱崎中学校は令和9年から10年頃に新校舎の建設工事等が行われ、その後、区画整理工事等が5年程度実施される予定となっているが、それぞれの進捗もあるため、具体的に何年度と示すことは難しい。5年後以降に更地の状態になるのではないかという状況である。

【委員】

現市民病院は非常に狭隘化が進んでおり、働いている医療従事者は大変な思いをしながら頑張ってカバーしながらやっているため、なるべく早く進めていただきたい。

各候補地を点数化しているが、市民病院は公的な役割をこれからも担っていくと思うので、医療環境への影響の点数が低くても、私は5年以内の福岡中学校に移転していただきたいと思うし、プラスアルファのところは十分にあると思う。早く進めていただきたいと思う。

【委員】

コロナ禍の年末年始に急患診療センターを見に行ったことがあるが、寒い中、長蛇の列を目の当たりにしたことから、やはり一次救急を東と西で分担する必要があると考える。

箱崎中学校と福岡中学校が適となっているが、救急医療の観点から川沿いに病院を置くより、福岡中学校の方がいいのではないかと思う。

国道3号は結構混んでいるが、例えば、入口に停車禁止の表示をするなどの対応ができると思う。また、例えば、多くの駐車場の確保が難しい場合は、ゆめタウン博多の営業時間外に駐車場を借りるなど、そういった年末年始の対応ができればといいと思う。

【会長】

他にご意見やご質問はないか。

＜意見なし＞

【会長】

様々なご意見をいただいたが、本審議会としては「適」となった2つの移転候補地が、いずれも市民病院の整備場所として適しているということで、次回ご審議いただく答申の中に盛り込むことにしたいと思うが、よろしいか。

＜異議なし＞

【会長】

それでは、次に進めたい。

(1) 移転候補地について（運営・施設部会からの報告）

④運営・施設部会 報告書

【会長】

それでは、④運営・施設部会 報告書について、ご意見やご質問をいただきたい。

＜意見なし＞

特に意見等がないようなので、次の議事に進めたい。

(2) 今後の進め方

【事務局】

＜資料5（今後の進め方）の説明＞

【会長】

ただ今の説明について、ご意見やご質問をいただきたい。

＜意見なし＞

【会長】

特に意見がないようなので、質疑・応答は以上で終了させていただく。

閉会